

第9回馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 第5回馬淵川流域治水協議会

青森河川国道事務所

概要

減災対策協議会の取り組み方針について、状況の確認・フォローアップを行い共有しました。また、令和4年8月出水を踏まえ、今後の洪水に備えて意見交換を行いました。あらたな取り組みとして、事務局から流域タイムラインや水害リスクマップ等の紹介や、災害対策用機械の派遣要請について情報提供を行う等、流域一帯となった治水対策の充実に向けて、引き続き取り組んで行くことを共有しました。



WEB会議の状況

開催内容

開催月日：令和4年10月18日（火）

開催場所：青森河川国道事務所 2階 災害対策室（WEB会議）

構成員：八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、新郷村、二戸市、八幡平市、葛巻町、軽米町、一戸町、青森県農林水産部、青森県県土整備部、青森県危機管理局、岩手県農林水産部、岩手県県土整備部、農林水産省東北農政局北奥羽土地改良調査管理事務所、林野庁東北森林管理局三八上北森林管理署、森林研究・整備機構森林整備センター、気象庁青森地方气象台、青森河川国道事務所

議事概要

- 1) 協議会規約の確認・変更
- 2) 取り組み方針のフォローアップ
- 3) 話題提供
 - ・R4.8月出水状況について
 - ・流域タイムラインについて
 - ・水害リスクマップについて
- 4) 意見交換
 - ・今回の洪水対応状況について
 - ・今後の洪水に備えて

ご意見・コメント等

- ・ 8月の出水では、青森県で初めて線状降水帯の発生が確認されるなど警戒が必要な状況であり、避難指示発令や避難所開設を行ったが、避難率は低かった。住民の防災意識の向上に努める必要がある。
- ・ 降雨が長期間続き、ピークの見極めが難しかったため、避難所開設、閉鎖のタイミングが難しいケースであった。
- ・ 近年、洪水被害があまり無かったため、河川以外に土砂災害にも備える必要性があり対応に苦慮した。
- ・ 短時間で急激に水位上昇あったため、避難指示発令や避難所開設を行ったが、住民から避難所開設に対し疑問視された。仮にあと1時間降り続けていたら大変なことになったと思っている。
- ・ 馬淵川沿いの地区の対応に注目していたため、その他の地区の避難確認が十分とれなかった。今後、防災計画や職員向けマニュアルの見直しを検討したい。
- ・ 田んぼダムの取り組みは土地所有者等地域の理解度を高める必要がある。雨水貯留のマニュアルを作成し普及活動を図りつつ、県内水田で田んぼダムの実証実験を行っている。引き続き田んぼダムの取り組みを進めていきたい。